

平成29年度の取組み

～ 地方創生・未来への挑戦 ～

豊岡市

事 業 一 覧

No.	事業名	担当課
1	自分たちの地域は自分たちで守る ～新しい地域コミュニティ組織の支援～	コミュニティ政策課
2	学びとつながりの場として ～図書館機能の拡充～	生涯学習課 図書館
3	豊岡の魅力を(再)発見するアートのお祭り ～Toyooka Art Season 2017～	文化振興課、生涯学習課 大交流課、城崎振興局
4	妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない支援体制を整備 ～子育て世代包括支援センターの設置～	健康増進課 こども支援センター
5	先輩社員が出会いの場をセッティング ～出会いサポート企業登録制度～	ハートリーフ戦略室
6	ボランティア仲人「縁むすびさん」で成婚数アップ！ ～ボランティア仲人養成～	ハートリーフ戦略室
7	結びつきを強め、ふるさとの活性化へ ～25歳同窓会（Uターン促進事業）～	エコバレー推進課
8	“つくり・育て・羽ばたかせる”場を活用して ～コワーキング豊岡運営～	エコバレー推進課
9	新たな4年制の高等教育機関 ～ 専門職大学の誘致 ～	大交流課
10	コウノトリ育む農法の普及拡大 ～コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進～	コウノトリ共生課
11	コウノトリ育むお米に高付加価値品種 ～コウノトリ育むお米ブランド化推進～	コウノトリ共生課
12	真のブランド米として ～コウノトリ育むお米海外販売推進～	コウノトリ共生課
13	円山川の雄大な自然を満喫 ～円山川沿線サイクリングロード整備～	建設課
14	教育環境を向上 ～中学校への空調設備整備～	教育総務課
15	ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成 ～ふるさと教育推進～	こども教育課、大交流課 コウノトリ共生課
16	授業に演劇的手法を ～コミュニケーション教育推進～	こども教育課
17	グローバル化社会に対応 ～英語教育推進～	こども教育課
18	「英語って楽しい♪」「英語大好き！」の気持ちを育む ～英語遊び保育推進～	こども育成課

19	高校版ローカル&グローバル教育 ～豊岡の未来を創る高校生支援～	こども教育課
20	働きながら子育てがしやすい環境づくり ～ファミリーサポートセンターの設置～	こども育成課
21	地域の特色を生かしまちを活性化 ～城崎振興局プロジェクトの推進～	城崎振興局地域振興課
22	地域の特色を生かしまちを活性化 ～竹野振興局プロジェクトの推進～	竹野振興局地域振興課
23	地域の特色を生かしまちを活性化 ～日高振興局プロジェクトの推進～	日高振興局地域振興課
24	地域の特色を生かしまちを活性化 ～出石振興局プロジェクトの推進～	出石振興局地域振興課
25	芸術文化でイメージアップ ～永楽館歌舞伎～	出石振興局地域振興課
26	地域の特色を生かしまちを活性化 ～但東振興局プロジェクトの推進～	但東振興局地域振興課

No. 1	自分たちの地域は自分たちで守る ～新しい地域コミュニティ組織の支援～	29年度 予算額	137,558 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人口が減少し、少子化・高齢化が進むことで生じるさまざまな地域課題に対して、将来に向けて安心して暮らすことができるよう、これまでの地区公民館の範囲で地域コミュニティ組織を立上げ、住民自治（自分たちの地域は自分たちで守ること）により地域の活性化と持続可能な地域運営を行う。

2 事業内容

(1) 内 容

平成 28 年度中に全ての地区（全 29 地区）で立ち上がった地域コミュニティ組織の拠点施設として、平成 29 年 4 月 1 日に地区公民館をコミュニティセンターに移行させた。

また、地域コミュニティ組織が住民自治活動、地域づくり活動を継続的に行えるよう、市は「コミュニティづくり交付金」の交付や、人材育成研修、とよおか地域づくり大会の実施など、継続して支援を行う。

(2) 事業期間

平成 25 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

185,132 千円（H25～H29、H30～は未定）



とよおか地域づくり大会 2017 の様子

3 29 年度予算

(1) 予算額

137,558 千円

(2) 事業内容

ア 地域コミュニティ組織への財政支援（コミュニティづくり交付金、活性化事業交付金等）

イ 地域コミュニティ組織への人的支援（地域マネージャー、アドバイザー等派遣）

ウ 各種研修の実施（人材育成研修、視察研修、職員研修、労務管理研修等）

エ とよおか地域づくり大会の開催

オ 島根大学との共同研究事業による地域マネジメント推進方策の検討

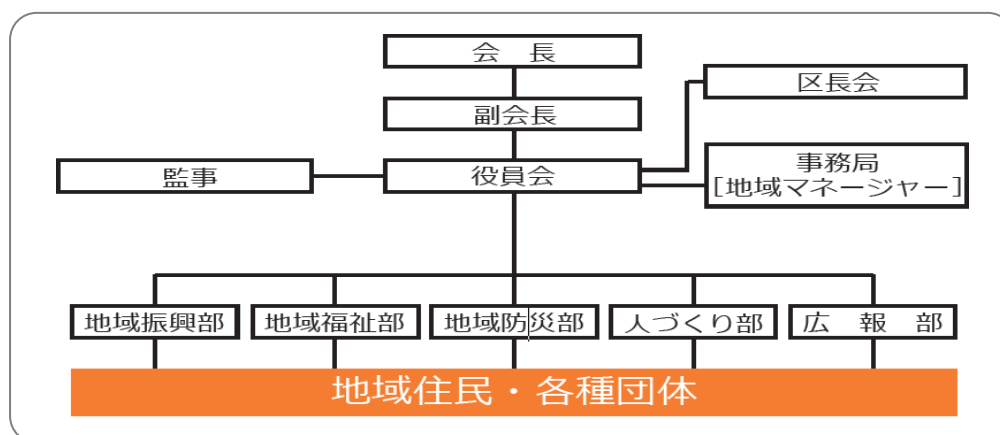
4 その他参考事項

- (1) 総額 137,558 千円のうち城崎振興局分 3,120 千円、竹野振興局分 13,353 千円、日高振興局分 24,811 千円、出石振興局分 20,795 千円、但東振興局分 15,033 千円
※振興局分はコミュニティづくり交付金、モデル期間のアドバイザー派遣費等の費用

(2) 地域コミュニティ組織一覧

地区名	地域コミュニティ認定組織名	代表者
1 豊岡地区	とよおかコミュニティ31	会長 芝地邦彦
2 八条地区	八条コミュニティ	会長 佐野守男
3 三江地区	三江コミュニティ	会長 黒坂英輝
4 田鶴野地区	コミュニティたづるの	会長 矢崎章司
5 五荘地区	コミュニティ五荘	会長 岡崎直美
6 新田地区	コミュニティ新田	会長 堀名喜郎
7 中筋地区	コミュニティなかすじ	会長 上坂孝一
8 奈佐地区	奈佐地区コミュニティ なぎさの会	会長 岡下 修
9 港 地区	コミュニティみなと未来	会長 脇 茂
10 神美地区	神美コミュニティ	会長 秋和光男
11 城崎地区	コミュニティ城崎	会長 宮下隆司
12 竹野南地区	竹野南地区コミュニティわいわいみ・な・み	会長 岡田隆男
13 中竹野地区	中竹野地区コミュニティ	会長 木瀬堯后
14 竹野地区	コミュニティたけの	会長 小高與志美
15 国府地区	コミュニティこくふ	会長 林 秀喜
16 八代地区	八代おもいやりネット	会長 赤坂健司
17 日高地区	日高地区コミュニティ「きらめき日高」	会長 小西康夫
18 三方地区	コミュニティ三方	会長 中西正博
19 清滝地区	桜・清流の郷 きよたき	会長 野口逸敏
20 西気地区	西気明日のいしずえ会	会長 田中昭一
21 弘道地区	弘道コミュニティ協議会	会長 片山正之
22 菅谷地区	はにの里菅谷協議会	会長 國谷吉三郎
23 福住地区	福住ふれあい協議会	会長 齋藤義規
24 寺坂地区	床尾の里てらさか	会長 下川 諭
25 小坂地区	夢コミュニティ小坂	会長 中西繁博
26 小野地区	小野コミュニティ	会長 柳澤安喜夫
27 資母地区	資母まちづくり協議会	会長 柴原重春
28 合橋地区	コミュニティあいはし	会長 大谷 均
29 高橋地区	高橋振興対策協議会	会長 田口 保

(3) 地域コミュニティ組織イメージの一例



担当部署【コミュニティ政策課】0796-21-9020

No. 2	事業名 学びとつながりの場として ～図書館機能の拡充～	29年度 予算額	153,769 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成29年2月に策定した「豊岡市図書館未来プラン」に基づき、図書館の機能強化を図るため、施設の長寿命化および事業推進体制の見直しを行うことで、図書館利用者と豊岡の暮らしを楽しむ人の増加を目指す。

2 事業内容

(1) 内 容

豊岡市図書館未来プランに基づき、施設機能等の見直しを行う。

ア 談話スペース等の整備

社会包摂の考え方にに基づき、市民の居場所と出番（役割や活動など）づくりのきっかけとなる談話スペース等を整備し、市民の出番づくりへの足掛かりにつなげる。具体的には、AV機器を撤去・一部移設し、談話スペース（ウッドデッキ含む。飲食可）を整備するとともに、社会に溶け込みづらい人などの利用者へ届けたい情報などを伝えるデスクマットを整備する。

イ 本館照明設備の更新（館内照明のLED化）

ウ 本館空調設備の更新（一般閲覧空間）

エ 本館映像機器等の更新（視聴覚室スクリーン改修、録音室防音設備）

オ 本館身障者用駐車場整備 2台分

カ 本館前庭芝生化整備

キ 職員エプロン更新（100着）

ク サピエ（視覚障害者情報総合ネットワークの利用等）

ケ 児童ボランティア養成講座の開催（入門講座全6回）

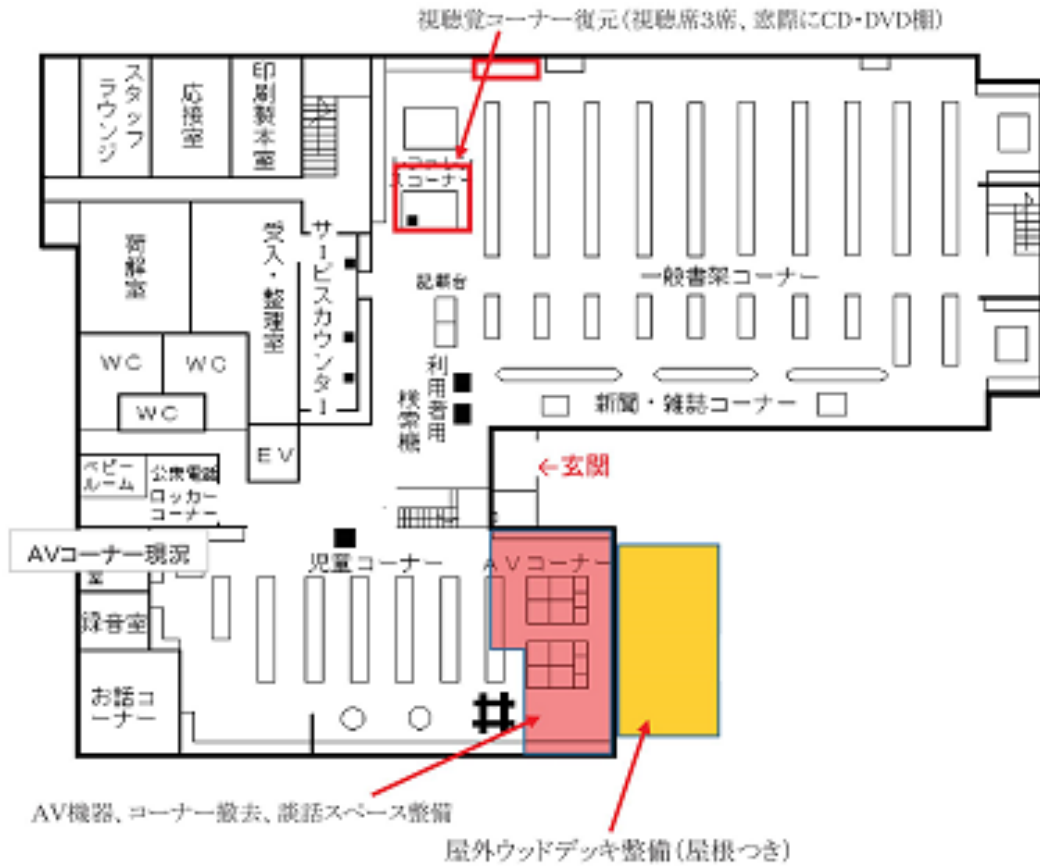
コ その他図書館機能の拡充

3 29年度予算

153,769 千円



●豊岡市立図書館 談話スペース、屋外ウッドデッキ整備、視聴覚コーナー復元（案）



◎図書館玄関前前庭



ウッドデッキ設置(屋根つき)

No. 3	豊岡の魅力を(再)発見するアートのお祭り ~Toyooka Art Season 2017~	29年度 予算額	44,031 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

文化芸術事業の連携および事業を通じた多様な人材の交流や、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供することにより、市民が暮らしの豊かさを実感することを目的とする。

市内外に向けた情報発信を行い、事業の展開を通して「地方は貧しくて、つまらない」というイメージを払拭し、地方創生の実現を図る。

2 事業内容

文化施設などが連携して、演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2017（豊岡アートシーズン2017）」として展開し、文化芸術の創造性を通じて、市の魅力を内外に向け発信する。

<Toyooka Art Season 2017 の主要プログラム> ※（ ）内の日程は変更の可能性あり。

文化振興課

とよおかアート縁日（9/23）、豊岡市文化芸術政策シンポジウム（仮）（8/27）
青年団『サンタクロース会議』公演（12月）、奈義町子ども歌舞伎公演（7/29）

（市民会館）

おでかけ訪問コンサート（5・6月、10・11月）、音楽レクチャー（年間）

生涯学習課

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭～おんぶの祭典～（6/27～7/2）
市民ふれあいのつどい～は～とふるコンサート～（11/26）

（市民プラザ）

演劇プロジェクト・セカンド 内藤裕敬と関西の俳優たち×市民演劇（8/19, 20）



関西演劇界の第一人者、内藤裕敬（南河内万歳一座・座長）作・演出による演劇公演。関西で活躍中の俳優たちと、公募オーディションにより選ばれた地元市民が共演する地域密着型演劇プロジェクト。 ※写真は2016年実施事業

内藤裕敬作・演出「あらし」（2016）

長野県上田市姉妹都市高校生演劇交流事業（7/29～31）

アジア国際児童青少年舞台芸術フェスティバル JAPAN 2018 IN 豊岡（2018年2/16～18）（予定）

大交流課（城崎国際アートセンター）

テアトロ・ムジーク・インプロヴィーズ『うつくしいまち』（7/15、17）



イタリアの児童劇団主宰の演出家・美術作家と、野村誠、やぶくみこによる美術と即興演奏に演劇的要素が加わった、子どもも大人も楽しめる舞台作品の公演。

テアトロ・ムジーク・インプロヴィーズ
イタリア・マントヴァでの公演の様子
(2016)

セノグラフィー・フォーラム（7/31～8/6）

世田谷シルク+Teater Sesam『ふしぎな影（仮）』（11/18、19）

城崎振興局

城崎温泉怪談祭・城崎怪団（9/11～15）

3 29年度予算

全体 44,031 千円

（文化振興課 12,032 千円、市民会館 4,600 千円、生涯学習課 9,040 千円

市民プラザ 7,399 千円、城崎国際アートセンター8,890 千円、

城崎振興局 2,070 千円）

担当部署名【文化振興課】0796-23-1160【生涯学習課】0796-23-0341

【大交流課】0796-21-9016【城崎振興局】0796-32-0001

No. 4	妊娠・出産・子育て期まで切れ目のない支援体制を整備 ～子育て世代包括支援センターの設置～	29年度 予算額	13,849 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	-----------	-------------------------

1 事業目的（趣旨）

出産・子育てに関する不安、リスクを抱える子育て世代が増加しており、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を整える必要がある。このため、健康増進課に新たに「子育て世代包括支援センター」の機能を加えて「おやこ支援室」を新設し、相談体制の強化とサービス導入による支援施策の充実を図る。

また、児童虐待など不適切な養育状態にある家庭の養育環境の改善を図るための専門的な相談・支援等を行う。

2 事業内容

- (1) 全ての妊産婦の状況を継続的に把握し、きめ細かい支援を実施
- (2) ハイリスク者へ支援プランを作成し、包括的・継続的に妊産婦を支援
- (3) 関係機関との個別支援会議を開催し、連携の強化と総合的支援体制を整備
- (4) 産前・産後サポート事業による育児支援体制整備

保健師・助産師または育児の経験者が相談支援を実施する。

ア 訪問型：保健師等による保健相談、育児相談・指導等

イ 訪問型：サポーター（ヘルパー）による家事・育児援助（10月～）

ウ 参加型：先輩ママとの交流会・栄養教室など

- (5) 産後ケア事業による育児支援体制整備

産後間もない母親に対して、心身のケアや育児サポートを行う。

ア 宿泊型：病院に産後ケア事業を委託し、利用者の負担を軽減

イ 訪問型：助産師による育児相談・指導、心身のケア等

- (6) 不適切な養育状態にある家庭や児童虐待の恐れのある家庭の相談・支援を実施

H29年4月開設

「おやこ支援室」ができました！

パパ・ママ・キッズのハッピーライフのために、**専門のスタッフ**があなたの子育てを**全力で応援**します！

●お母さんの体調に関する相談・支援を行います●
マタニティブルーや産後うつなどのこころの不調、つわりの産後の体調不良で悩んでいませんか？
『誰かに話を聞いてほしい』『少し家事を助けて欲しい』と思ったらご連絡ください。

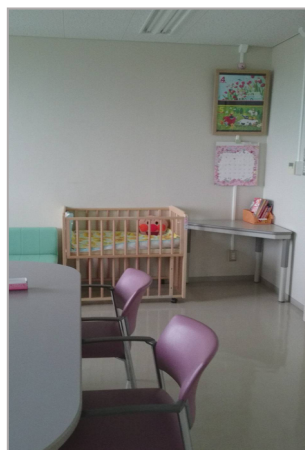
●赤ちゃんの育児に関する相談・支援を行います●
母乳育児やミルクのこと、授乳方法、赤ちゃんの体重増加、お世話の仕方、お風呂の入れ方、家での過ごし方など、気になることがあれば相談してください。訪問します。

●産後の不安がいっぱい●
産後、助けてくれる人がいない、授乳や育児もしないといけないけど自分自身もしんどいときは、すぐに相談してください。病院に密着したり、助産師が訪問して産後ケアがうけられます。

●子育てに関する相談・支援を行います！●
多くの人がつくり・虫咬が心配！人見知りが多い赤ちゃん、走り・トイレトレーニングなど、子育てには悩みがいっぱい！一緒に解決策を考えませんか。

①産前産後サポーター派遣事業（ヘルパーによる家事援助・育児援助）はH29年10月開始予定です。
②産後ケア事業の助成をめました。
③④いずれも利用料が必要です。課税状況により利用料がわかりますので課税状況照会の同意が必要になります。

【問合せ】平日8:30～17:15
豊岡市健康増進課おやこ支援室
TEL:24-9604(直通)
24-1127
FAX:24-9605



3 29年度予算

子育て包括支援センター整備事業	1,232千円（国 1/3・県 1/3 補助）
産前・産後サポート事業、産後ケア事業	8,790千円（国 1/2 補助）
養育支援訪問事業	3,827千円（国 1/3・県 1/3 補助）

担当部署名【健康増進課】0796-24-1127

【こども育成課 こども支援センター】0796-21-9003

No. 5	先輩社員が出会いの場をセッティング ～出会いサポート企業登録制度～	29年度 予算額	541 千 円	新規 拡大 継続
-------	--------------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「職場や仕事で」の出会いは、夫婦が出会った機会の約3割を占めている（平成27年国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」）。市内企業に働きかけ、職場を通じた、あるいは職場同士の出会いの機会を促進する。

2 事業内容

(1) 内容

「出会いサポート企業」の登録制度を設け、企業内の「出会いサポーター」との活動により、職場等における結婚を促進する。

ア 「出会いサポート企業」に期待される活動

- ① 上司や先輩社員で構成する「出会いサポーター」の設置
- ② 市のキャンペーンに協力（ポスターの掲示等）
- ③ 出合いや結婚に関するチラシ、パンフレット等の設置

イ 「出会いサポーター」に期待される活動

- ① 市が主催する出会いサポーター交流会での情報交換や、独身者交流会（婚活イベント、合コン）の自主企画・開催
- ② 情報を求める独身者に対し、婚活イベントのチラシの配布等

ウ 市の活動支援

- ① 出会いサポーター交流会の開催
- ② 活動ガイドラインの作成

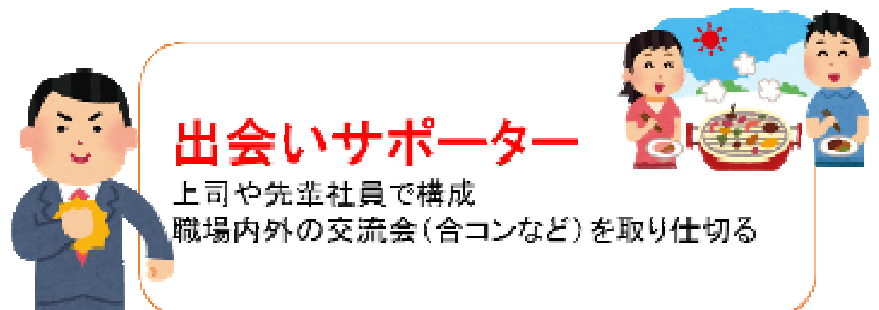
上司や先輩からの声かけがパワハラやセクハラにならないよう、活動ガイドラインを作成し、提示する。

(2) 事業期間

平成29年度～

3 29年度予算

541 千円



担当部署名【ハートリーフ戦略室】0796-21-9100

No.6	ボランティア仲人「縁むすびさん」で 成婚数アップ！ ～ボランティア仲人養成～	29年度 予算額	751 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
------	--	-------------	--------	---

1 事業目的（趣旨）

市が認定する100人規模の一般市民（ボランティア仲人）が、かつての「おせっかいさん」のように結婚の「せわやき」を行ってご縁を取り持つことにより、結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層にも働きかけて、成婚数を増加させる。

2 事業内容

(1) 内容

ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。

ア ボランティア仲人

一般から公募し、セミナー受講者に市が登録証を交付

イ 縁の取り持ち

- ① 知り合いの男女双方に声を掛けて出会わせる。
- ② 独身者のプロフィールを作成し、月に一度の仲人交流会（プロフィール交換会）にて相互にお見合い相手を決め、引き合わせる。

ウ 交際支援

交際開始後も相談に乗り、成婚に導く。

エ 市の支援

- ① 個人情報保護などに留意したハンドブックを作成して活動をルール化
- ② 仲人交流会（プロフィール交換会）の開催
- ③ 成婚に導いたボランティア仲人に成婚報奨金（3万円/組）

(2) 事業期間

平成29年度～

3 29年度予算

751 千円

4 その他参考事項

(1) 「縁むすびさん」募集詳細

ア 対象

市内在住または在勤の20歳以上で、セミナー受講の可能な方

イ 申込み

6月30日（金）までに所定の申込書（市ホームページに掲載）と本人確認書類の写しを下記担当部署または各振興局地域振興課へ提出

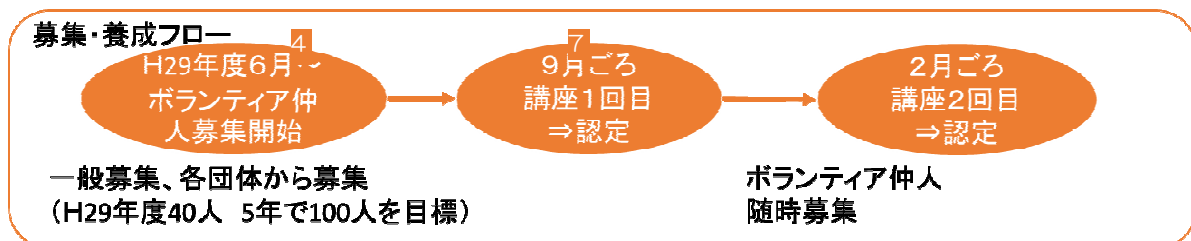
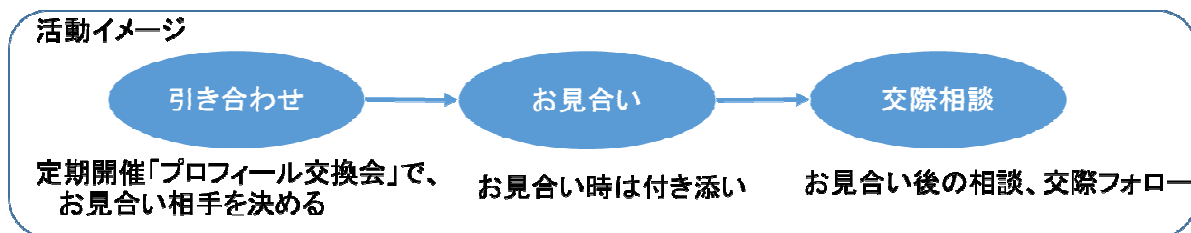
(2) セミナー

ア 日時 7月7日（金）午後7時～9時または7月8日（土）午後1時30分～午後3時30分（いずれか一方に参加のこと）

イ 会場 豊岡市役所 立野庁舎 多目的ホール



《活動イメージ、募集・養成フロー（案）》



担当部署名【ハートリーフ戦略室】 0796-21-9100

No. 7	結びつきを強め、ふるさとの活性化へ ～25歳同窓会（Uターン促進事業）～	29年度 予算額	3,244 千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

大学等の新規卒業のタイミングでUターンしなかった市内高校の卒業者に対し、豊岡の価値や暮らし、仕事を伝えることによって豊岡の良さを再認識させる。また、同じ年齢の市内在住者との結びつきを強めることにより、ふるさとの活性化へと繋げる。

2 事業内容

豊岡市内の高校を卒業した満25歳になる方を対象とした同窓会を開催。

(1) 開催時期

12月頃（予定）

(2) 開催会場

豊岡市内

(3) 対象者

満25歳（1992年4月2日～1993年4月1日生まれの方）

(4) その他

- ・市内企業のブースを設け、企業や仕事の紹介を行う。
- ・市内外の25歳に対し、幹事を募集。
- ・参加者負担を徴収。
- ・開催後、移住相談や仕事相談などのフォローを実施。

3 29年度予算

3,244千円



（参考）新規大学卒業就職者の離職状況（厚生労働省：H28.10.25 発表）

（％）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1年目まで	15.1	15.0	14.5	12.9	12.1	11.4	13.4	14.3	13.0	12.7
2年目まで	26.8	26.7	25.5	23.3	21.6	21.1	23.3	23.5	23.3	22.8
3年目まで	36.6	35.9	34.2	31.1	30.0	28.8	31.0	32.4	32.3	31.9

※各年は、その年の3月卒業を表す

担当課名【エコバレー推進課】0796-23-9096

No. 8	<p>“つくり・育て・羽ばたかせる” 場を活用して ～コワーキング豊岡運営～</p>	29年度 予算額	1,667 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

コワーキングスペース『FLAP TOYOOKA（フラップ トヨオカ）』が但馬地域地場産業振興センター（じばさんT A J I M A）5階にオープンした。

コワーキングスペースとは、一般的なオフィスの環境とは異なり、開放的な空間を共有し、コミュニケーションを図ることで、お互いに情報やアイデアを共有するワークスペースである。

FLAP TOYOOKAでは、創業を考えている方、創業して間もない方、法人、個人事業者、主婦などいろいろな考えを持ったさまざまな業種の方が同じ空間に集い、出会い、交流する中で、新しいつながりやビジネスが生まれることを目指すため、このワークスペースを活用した創業支援事業を行う。

2 事業内容

FLAP TOYOOKAを活用したセミナーやイベントなどの実施

- (1) 会員間のネットワークづくりのためのイベントの実施
- (2) 同フロアに入居している（一社）豊岡観光イノベーション、ウィラー（株）と連携したイベント（観光関連やITを活用した関連事業など）の開催
- (3) 商工団体や金融機関などと連携した創業に関する情報の提供
- (4) 創業支援ネットワーク（市、商工団体、金融機関、士業団体などが参画）による創業に関するセミナーの開催

3 29年度予算

1,667 千円



4 その他参考事項

FLAP TOYOOKA (約 164 m²) には、コワーキングスペースをはじめ、会議室、ミーティングルーム、シンキングブース、キッチンコーナーを設けている。

また、Wi-Fi が完備され、音響設備、天吊りプロジェクター、電源、複合機、シュレッダー、個人ロッカーなども整っている。

(1) 運営管理者

(一財) 但馬地域地場産業振興センター Tel.0796-24-5551

平日の受付業務については (一社) 豊岡観光イノベーションに委託

(2) 利用条件等

ア 対象

- ① 会員
- ② 豊岡市、商工団体等

イ 利用日・利用時間

1月4日～12月28日 午前9時～午後10時

※一時利用者は平日の午前9時～午後5時

ウ 利用料金

- ① 個人会員 3か月間 15,000円 6か月間 25,000円
- ② 法人会員 6か月間 60,000円 12か月間 100,000円
- ③ 一時利用会員 2時間 500円 (1日最大 1,000円)



担当部署名【エコバレー推進課】 0796-23-4480

No.9	新たな4年制の高等教育機関 ～ 専門職大学の誘致 ～	29年度 予算額	4,772 千円	新規 拡大 継続
------	--------------------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但馬地域の地方創生の戦略的取組の一つとして、観光コミュニケーションやアートマネジメント等の専門人材を育成する4年制の高等教育機関である「専門職大学」を誘致する。これにより、若者の進学による転出抑制、地域を支える人材の育成による但馬の産業の活性化を通じたU I ターンの増加が期待される。

2 事業内容

(1) 関係機関への要望状況

ア 要望書の提出

平成28年8月に但馬地域の市町長より県知事に「但馬地域における専門職大学の設置に関する要望書」を提出

イ 要望活動の実施

平成28年10月に但馬自治会より県知事に平成29年度の県予算編成に向けた要望活動を実施

ウ 誘致推進に向けた組織の設立

平成29年2月に但馬地域に専門職大学を誘致する組織として、但馬地域の市町長で構成する「但馬地域における専門職大学誘致推進委員会」を設立

(2) 平成29年度の予定

ア 専門職大学の構想策定に向けた検討の開始（兵庫県）

兵庫県において有識者への意見聴取を含む専門職大学の構想策定に向けた検討が開始される（平成29年度予算：調査費100万円）。

イ 誘致に向けた調査業務の実施（豊岡市）

誘致に資する取組として、アの検討をサポートするために必要となるニーズ調査や先進地事例調査等を行う。

3 29年度予算

4,772 千円

<内訳>

- ① 専門職大学設置調査業務委託費 4,000 千円
- ② 先進地事例調査費等 772 千円

県立専門職大学の設置（要望中）

○観光コミュニケーション

○アートマネジメント

2020年開学を目指す！

No.10	コウノトリ育む農法の普及拡大 ～コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進～	29年度 予算額	37,734 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市場評価の高いコウノトリ育む農法無農薬栽培の推進と、高付加価値品種「いのちの壱」の産地品種銘柄取得、栽培推進により農家所得の向上を目指す。

2 事業内容

(1) コウノトリ育む農法無農薬栽培の技術確立を図るため、平成26年度から平成28年度まで実施した「ポット成苗＋機械除草」による実証事業の結果を基に、栽培要点等をまとめた「コウノトリ育む農法無農薬栽培マニュアル（仮称）」を作成する。併せて、ポット成苗栽培の普及拡大を図るため、専用機械の購入を支援する「無農薬栽培推進支援事業」を新たに実施する。

(2) 高付加価値品種「いのちの壱」の試験栽培2年目に取り組みながら、産地品種銘柄の取得を目指すとともに、当地域での品質および収穫量の向上に努める。



（株）龍の瞳 今井代表の「いのちの壱」栽培指導

3 29年度予算額

37,734 千円

《内訳》

- | | |
|------------------|----------------|
| ① 無農薬栽培マニュアル作成 | 1,912 千円 【新規】 |
| ② 無農薬栽培チャレンジ事業 | 5,000 千円 |
| ③ 有機育苗システム構築実証事業 | 5,000 千円 |
| ④ 「いのちの壱」試験栽培事業 | 2,156 千円 |
| ⑤ 無農薬栽培推進支援事業 | 23,666 千円 【新規】 |

※ 補助率2/3(国1/3・市1/3)

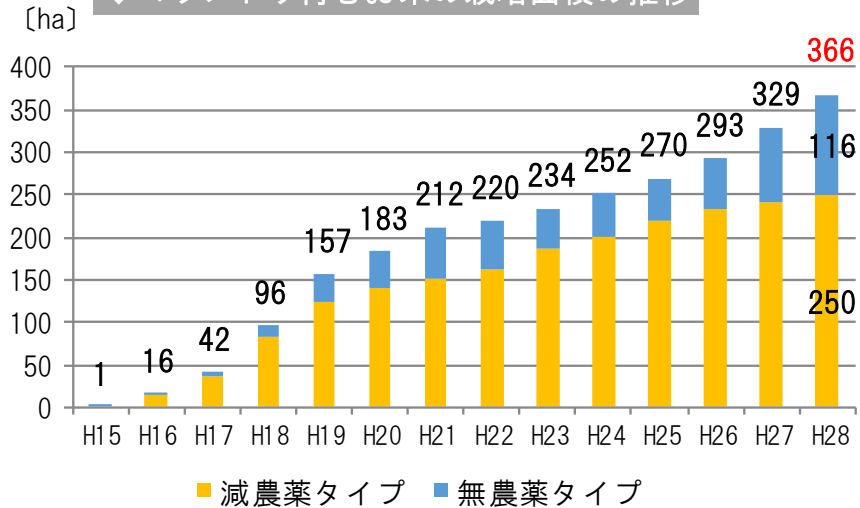


《補助対象機》

左：ポット苗専用田植機

右：ミッドマウント型乗用除草

◆コウノトリ育むお米の栽培面積の推移



◆無農薬栽培実証事業実証結果 (H26~28の平均値)

収 量		食 味 値	
実証田	対照田	実証田	対照田
479 kg/10a	395 kg/10a	83 点	82 点

※ 実証田：みのる式有機栽培（ポット成苗・ミッドマウント型乗用除草機）による

※ 対照田：従来のコウノトリ育む農法無農薬栽培による

担当課名【農林水産課】0796-23-1127

No.11	コウノトリ育むお米に高付加価値品種 ～コウノトリ育むお米ブランド化推進～	29 年度 予算額	6,627 千円	新規 拡大 継続
-------	---	--------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰を核とした豊岡農業の情報発信を図り、市場経済に認められた真のブランド米としての確立を目指す。

2 事業内容

- (1) 消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感してもらうため、店舗と連携したさまざまなPRイベント等を実施する。
- (2) 平成 28 年度から新たに試験導入した高付加価値品種「いのちの壺」の商品開発と市場調査を行い、コウノトリ育むお米の新たなブランド（品種）としての確立を図る。

3 29 年度予算

6,627 千円

《内訳》

- ① 店舗等と協力した情報発信事業 4,517 千円
- ② 「いのちの壺」ブランド化事業 2,110 千円【新規】

(参考)「いのちの壺（品種名）」について

米粒がコシヒカリの約1.5倍の大きさ、粘りや香り、甘みに優れた良食味米として、市場で高い評価を受けている品種



店舗と連携した販売イベント
(沖縄サンエー)



「いのちの壺」試食イベント(イメージ)

担当課名【農林水産課】0796-23-1127

No.12	真のブランド米として ～コウノトリ育むお米海外販売推進～	29年度 予算額	6,060 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

海外市場において、コウノトリ育むお米の背景にあるコウノトリ野生復帰を推進する豊岡全体の情報発信を図り、国内外に認められた真のブランド米としての確立を目指す。

2 事業内容

- (1) 昨年度、ニューヨーク開催された日本食レストランエキスポへ出展し、多くの事業者から評価いただき高級和食店への契約に至った。今年度はニューヨークで開催される当エキスポへの継続出展に加え、ロサンゼルスで開催される商談会へ出展し、アメリカ市場での販路拡大を目指す。併せてニューヨーク取扱店と連携したPR事業を実施し、一層の普及拡大に取り組む。
- (2) 商談会等でのブース運営および店舗連携事業のプロデュース等を業務委託し、質の高いプロモーション事業を実施し、新規契約店等販路拡大を目指す。

3 29年度予算

6,060 千円

《内訳》

- | | |
|-------------------------|----------|
| ① 商談会参加費および販売イベント開催費 | 4,060 千円 |
| ② コウノトリ育むお米プロモーション業務委託費 | 2,000 千円 |



NY商談イベント 育むお米紹介ブース



高級和食店「brushstroke」

担当課名【農林水産課】0796-23-1127

No. 13	円山川の雄大な自然を満喫 ～円山川沿線サイクリングロード整備～	29年度 予算額	2,000 千円	新規 拡大 継続
--------	---	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

円山川沿線には、城崎温泉、玄武洞、コウノトリの郷公園、出石などの多くの観光資源が存在する。近年のインバウンドブームにより多くの外国人観光客が豊岡を訪れていることから、円山川堤防等をサイクリングロードとして整備し、円山川の雄大な自然に触れながら観光スポットを自転車で巡ってもらうことで、改めて豊岡の良さを実感してもらうとともに、SNS等で世界中に発信してもらう。

2 事業内容

(1) 内容

サイクリングロード整備 全体計画L=約51km

河川管理道（堤防等）や県道等の一部を利用して、路面表示や案内標識を設置することにより、サイクリングロードとして整備する。

平成29年度 整備延長 L=5km

(2) 事業期間

平成29年度～平成33年度

3 29年度予算

2,000 千円



※ この計画（案）は、今後の事業進捗によって変更の可能性あり

担当課名【建設課】0796-23-1115

No. 14	教育環境を向上 ～中学校への空調設備整備～	29年度 予算額	203,400 千円	新規 拡大 継続
--------	---------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

中学校における教育環境の質的向上と、夏季の暑さ対策のため、既に普通教室等に空調設備のある但東中学校を除く 8 中学校に対して、普通教室等へ空調設備設置工事を行い、平成 30 年夏からの一斉稼働を目指す。

2 事業内容

(1) 内 容

平成 28 年度の実施設計に続き、平成 29 年度から空調設備設置工事を行う。

① 対象校

豊岡南中学校、豊岡北中学校、港中学校、城崎中学校、竹野中学校、日高東中学校、日高西中学校、出石中学校 計 8 校

② 対象教室（ ）内は教室数

普通教室（62）、少人数教室（20）、特別支援教室（14）、特別教室〔理科室、音楽室、美術室〕（32） 計 128 教室

(2) 事業期間

平成 28 年度～平成 30 年度（一部工事については、債務負担による 2 カ年度にわたる施工を計画

(3) 全体事業費

370,820 千円

（実施設計費 9,720 千円、施工監理費 16,000 千円、工事請負費 345,100 千円）



豊岡南中学校校舎

3 29 年度予算

(1) 予算額

① 現年度 203,400 千円（施工監理費 8,600 千円、工事請負費 194,800 千円）

② 債務負担 157,700 千円（施工監理費 7,400 千円、工事請負費 150,300 千円）

(2) 事業内容

① 各対象教室へ空調設備を設置

② 対象校 8 校を 4 校程度に分けた工事施工を計画

平成 29 年度（予定）：豊岡南、日高東、日高西、出石

平成 30 年度（予定）：豊岡北、港、城崎、竹野

4 その他参考事項

(1) 電気代節減対策

施工時での一括使用監視（電源 ON、OFF 状態の確認）整備の他、別途稼働時におけるデマンド監視業務導入（業者委託）を計画

担当課名【教育総務課】0796-23-1117

<p style="text-align: center;">ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成</p> <p>No. 15</p> <p style="text-align: center;">～ふるさと教育推進～</p>	<p>29年度 予算額</p>	<p style="text-align: center;">6,532 千円</p>	<p style="text-align: center;">新規 拡大 継続</p>
--	---------------------	---	---

1 事業目的（趣旨）

一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置付け、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

2 事業内容

各校長が参加するワーキンググループ会議で作成された「ふるさと教育単元学習計画」に基づき、すべての小・中学校において取り組む。また、教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して平成28年度に作成した「ふるさと学習ガイドブック」の効果的な活用について実践を積み重ねる。

3 29年度予算額

全体事業費 6,532 千円

《内訳》

- | | |
|------------|----------|
| ① こども教育課 | 3,192 千円 |
| ② コウノトリ共生課 | 2,540 千円 |
| ③ 大交流課 | 800 千円 |



ふるさと学習ガイドブック

4 29年度事業内容

(1) こども教育課の取組み

- ア 各学校へ豊岡で活躍する人(ゲストティーチャー)を招聘
- イ 豊岡市内のジオサイト、施設等を訪問し体験活動を実施
- ウ 「但東中学校 MISSION IN TOKYO」

但東中学生が修学旅行で訪問する東京のアンテナショップ等でふるさとPRを実施

(2) コウノトリ共生課の取組み

- ア 平成29年度から市内小・中学校でスタートする「ふるさと教育」の実践にあたり、コウノトリ分野において、教育現場で求められる支援を行うとともに、効果検証を行い、事業改善の参考とする。

- ① 生きもの調査指導用DVDの制作
- ② 生きもの調査用具の購入・設置
- ③ ふるさと教育効果検証アンケート調査



「但東中学校 MISSION IN TOKYO」
アンテナショップを通して「ふるさと教育」
(但東中学校修学旅行 H28. 5. 19)

イ コウノトリ次世代育成事業

① コウノトリKIDS

校区や学年の枠を超え、子どもたちがコウノトリ野生復帰を深く学び、取り組みのサポートを行う活動サークルを運営する。

② 出張田んぼの学校

地域における生きもの調査や観察会及び「ふるさと教育」における生きもの調査の出張現地指導を行う。

③ 高校生等への活動支援

グループ等でコウノトリ野生復帰への理解を深めるふるさと学習活動に対し、支援補助金を交付する。

(3) 大交流課の取組み

ジオパークを通じた学習に活用する必要教材（DVD）を作成する。

<参考> 「ふるさと学習ガイドブック」抜粋

ジオパーク、コウノトリ、^{さんぎょう}産業・文化の 全体のつながり

これからみなさんが学ぶジオパーク、コウノトリ、産業・文化は、様々な側面そくめんでつながっています。そのことを意識いしぎしながら学ぶことで、豊岡で繰り広げられるいろいろなストーリーが見えてくるでしょう。

ガイドブックの所々には、他の分野への関連かんれんがわかるように玄さんとコーちゃんとオーちゃんが案内あんないしています。



コウノトリの
「コーちゃん」



玄武岩の
「玄さん」



オオサンショウウオの
「オーちゃん」



コウノトリ野生復帰普及啓発映像「コウノトリと共に生きる」の一場面

担当部署名 【こども教育課】 0796-23-1452

【コウノトリ共生課】 0796-21-9021

【大交流課】 0796-21-9016

No.16	授業に演劇的手法を ～コミュニケーション教育推進～	29年度 予算額	943 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。

ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Iターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

2 事業内容

(1) 内 容

全ての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的な手法を取り入れたワークショップ型、双方向型の学習方法を用い、児童の学習意欲・自尊感情を向上させる総合的な取組みを行う。

また、外部講師を招聘し、指導方法や年間計画の修正等について指導を受け、授業の充実を図る。

(2) 事業期間

平成 27 年度～31 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 29 年度予算

943 千円



担当部署名【こども教育課】0796-23-1452

No.17	グローバル化社会に対応 ～英語教育推進～	29年度 予算額	34,218 千円	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続
-------	--------------------------------	-------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

就学前および9年間の系統性と連続性のある学習を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域を確実に身に付け、中学校卒業時にはふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる力を身に付ける。

2 事業内容

(1) 内 容

ア 全ての小・中学校において、豊岡市小中一貫教育の柱の一つである英語教育を実施する。

- ① 「豊岡市英語カリキュラム」に則った英語教育を行う。
- ② 全ての小・中学校に外国語指導助手を配置し、担任と連携した授業を行う。

イ 豊岡市教員の英語の授業力向上を目的にした研修会を実施する。

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(2) 事業主体

豊岡市

3 29年度予算額（補助率・負担率等）

34,218 千円



4 29年度事業内容

- (1) 全ての小・中学校へ外国語指導助手を配置
- (2) サマースクールの実施
- (3) 教員研修の実施

(参考)

No.18「英語遊び保育推進」と併せて、就学前から中学校卒業まで一貫教育を実現

No.18	「英語って楽しい♪」「英語大好き！」 の気持ちを育む ～英語遊び保育推進～	29年度 予算額	13,169 千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持つようとする気持ちの素地を養う。

《子どもに期待する姿》

英語遊び指導員や保育者との肯定的な関わりの下、「遊びを通して、楽しみながら英語をたくさん経験する」ことにより、三つの姿を期待する。

- (1) 外国の言葉や文化に興味を持つ子に
- (2) 喜んで人と関わろうとする子に
- (3) 自己肯定感を持てる子に

2 事業内容

(1) 内 容

ア 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどを全て英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

① 訪問対象 市内全幼稚園・保育園・認定こども園の4・5歳児クラス
（※但し、既に取り組まれているなどの一部の園を除く）

② 実施回数 年間15回程度（2週間に1回程度）

③ 時 間 5歳児・40分、4歳児・30分

④ 指 導 者 英語遊び指導員 7人

イ その他

英語遊び研修会の実施、英語遊び通信の発行など

(3) 事業期間

平成27～28年度 6モデル園での先行実施

平成29年度～ 市内の公私立園で実施

3 29年度予算

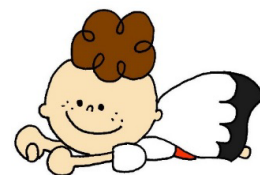
13,169千円



“Monkey!” 大きな声を出して遊ぶ子どもたち

これまでの取組みとこれから

平成 27 年度から4・5歳児を対象とした「英語遊び保育」を6つのモデル園で試行実施し、29 年度からは全園に展開を広げていきたいと考えています。



- 平成 27 年度～平成 28 年度
- ・6モデル園での試行実施
 - ・指導員派遣による英語遊び(週1回程度)
 - ・「豊岡市英語遊び保育プログラム」の作成
 - ・モデル園外で英語遊び保育体験



平成 29 年度以降
市内全園で巡回指導の予定

モデル園事業

平成27年度から6つのモデル園で、「えいご、だいすき」「えいご、もっとしたい」という子どもたち一人一人の気持ちの芽を育てることを大切に、取り組んできました。

モデル園

五荘奈佐幼稚園 城崎こども園 竹野認定こども園
みかたの森こども園 小坂幼稚園 合橋認定こども園

こんなことをしています(英語遊びの一例)

Hello



体を動かそう



英語で言ってみよう!



英語のゲームで
遊ぼう



歌・手遊び



絵本の読み聞かせ



Good bye! See you!



Head! 手は頭に



大きな声で元気にHello!



Touch red! 赤のカードをタッチ



体を動かして、楽しく歌を歌おう



今日はどんなお話のかな

担当課名【こども育成課】0796-29-0053

No.19	高校版ローカル&グローバル教育 ～豊岡の未来を創る高校生支援～	29年度 予算額	2,130 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div> 拡大 継続
-------	---	-------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

3週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を生かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

2 事業内容

(1) 内 容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習 の時間」の取組（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル教育に取り組む豊岡総合高等学校の地域国際系列の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

(2) 事業期間

平成 29 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 29 年度予算

2,130 千円

4 補助の内容

- ・ 3 週間語学研修参加経費 1 人 213 千円。10 人を限度とする。
- ・ 参加経費に含まれるもの 授業料、ホームステイ料金、医療保険、アクティビティ参加費、参加証等



平成28年度に実施した「ドラマティックコミュニケーション:日本語コミュニケーション講座(ビクトリア大学太平洋アジア学科-城崎国際アートセンター)」

担当部署名【こども教育課】0796-23-1452

No.20	働きながら子育てがしやすい環境づくり ～ファミリーサポートセンターの設置～	29年度 予算額	3,947 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者と、支援を行いたい者の会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

2 事業内容

(1) 会員

ア おねがい会員（育児の援助を受けたい者）

豊岡市民。生後6カ月から小学校6年生までの子を持つ保護者

イ まかせて会員（育児の援助を行いたい者）

豊岡市民。満20歳以上で、自宅で子どもを預かることができる方

(2) 会員同士の援助活動の内容

ア 一時的・臨時的な子どもの預かり

イ 保育施設等への送迎

ウ 活動時間は、午前6時～午後10時

(3) 謝礼の基準額

ア 平日（月～金曜日）の7時～19時 30分当たり 350円

イ 上記以外の時間、祝祭日等 30分当たり 400円

(4) 事務局（教育委員会こども育成課）の役割

専任のアドバイザーを配置し、会員の募集・登録、会員の講習会・交流会の実施、相互援助活動の調整（会員のマッチング）等を行う。

(5) 事業期間（平成29年度～）

平成29年4月1日付で、豊岡市ファミリーサポートセンターを設置し、会員募集、会員講習を経て、秋頃には会員同士の相互援助活動が開始できるように進める。

[今年度の予定]

4月10日～6月10日 まかせて会員募集

6月下旬 まかせて会員講習会

夏頃 おねがい会員募集

秋頃 援助活動スタート

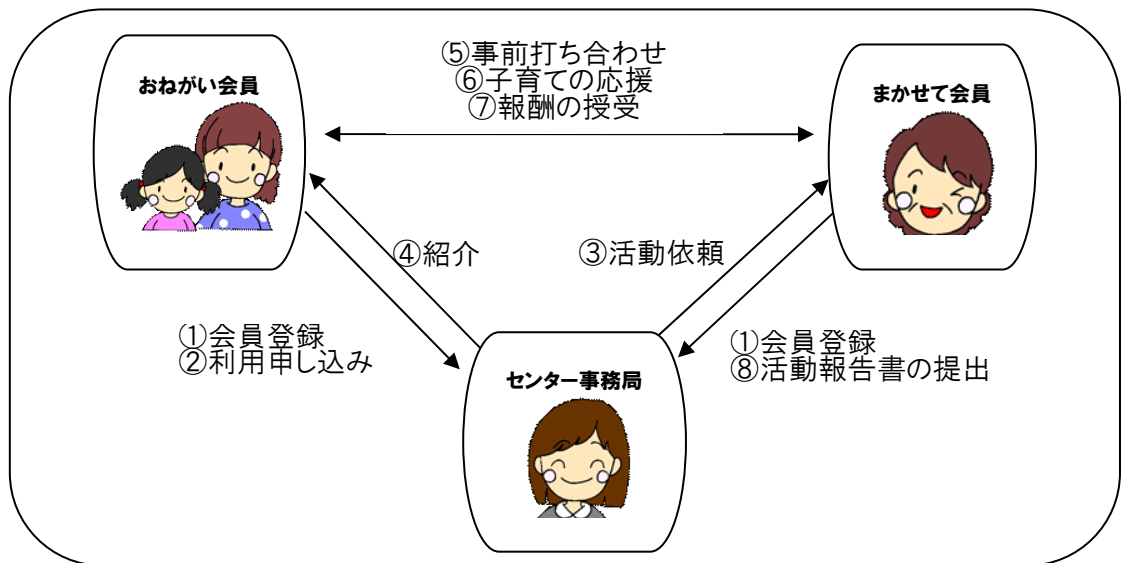
3 29年度予算（補助率・負担率等）

3,947千円

（国補助率 基準額の1/3）

（県補助率 基準額の1/3）

4 参考（ファミリーサポートセンターの仕組み）



担当課名【こども育成課】0796-29-0053

No.21	地域の特色を生かしまちを活性化 ～城崎振興局プロジェクトの推進～	29年度 予算額	8,970 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">拡大</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div>
-------	---	-------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

城崎地域では、インバウンド効果で年間を通じて安定した宿泊者数が見込めるようになりつつあるが、従業員不足が一層深刻となっている。

このため、城崎温泉夢花火事業等閑散期の観光客増加対策の取組みを支援するとともに、城崎怪談とインターンシップにより都市部の若者を関係人口(※)として取り込む仕組みづくりを構築し、さらに、朝市事業により地域の魅力を再発見することで地域への愛着を醸成し、正規で働く若者を増やすことを目指す。

※ 関係人口：城崎との関わりを持つ人

2 事業内容

(1) 城崎温泉夢花火事業（継続）

ア 事業内容：夏期（夏休み期間中の平日）の観光客増加を目的とした事業

イ 事業費：12,000 千円（市補助金 6,000 千円）

ウ 事業主体：城崎温泉観光協会

(2) コウノトリチャレンジライド事業（継続）

ア 事業内容：9月上旬に全市域及び香美町を回る自転車イベントを実施

本年度は全国大会も同時開催

イ 事業費：9,258 千円（市補助金 400 千円）

ウ 事業主体：山陰海岸ジオパークコウノトリチャレンジライド in 但馬実行委員会（但馬県民局、豊岡市、豊岡市区長連合会などで構成）

(3) 城崎温泉怪談祭・城崎怪団（新規）

ア 事業内容：城崎温泉街を散策しながら町並みと怪談を楽しむテーマパーク型イベントと旅館で就業体験をする大学生のインターンシップを組み合わせることで、大学生の就職先として城崎地域をアピールし、就職・定住につなげる。

イ 事業費：4,141 千円（市負担金 2,070 千円）

ウ 事業主体：城崎怪談実行委員会

(4) 駅通り公園朝市事業（新規）

ア 事業内容：城崎地域で収穫された農産物等を城崎温泉街で販売。

イ 事業費：1,000 千円（市補助金 500 千円）

ウ 事業主体：KAKEHASHI（内川地域の有志で構成）



3 29年度予算

8,970 千円

No.22	地域の特色を生かしまちを活性化 ～竹野振興局プロジェクトの推進～	29年度 予算額	12,354 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

竹野振興局では、「竹野の海、山、川と共生して暮らす若者が増えている。」を戦略目的とした、仕事づくり、地域の魅力づくり、情報発信など、地域の特色を活かした事業を推進し、人口減少の緩和と地域振興を図る。

2 事業内容

(1) 竹野振興局プロジェクト事業

ア 竹野地域第一次産業就労支援モデル事業

事業内容：農業の新規就労者（兼業農家）の育成支援

事業費：720千円

事業主体：竹野の農業を守る会

イ 地域情報発信事業

事業内容：マスコミ等への情報提供や情報発信に対する支援

事業費：800千円

事業主体：たけの観光協会、株式会社北前館

ウ まちなみ景観調査事業

事業内容：焼き杉板の町並みの文化的景観調査、焼き杉板フィールドワークの実施

事業費：2,706千円

事業主体：豊岡市

エ 空き家調査事業

事業内容：竹野地域の空き家の家屋調査および所有者の意向調査に対する支援

事業費：1,950千円

事業主体：特定非営利活動法人たけのかぞく

オ 三原谷の川の風まつり事業

事業内容：芸術家や映像作家、音楽家によるイベントへの支援

事業費：1,050千円

事業主体：三原谷の川の風まつり実行委員会



(2) 竹野北前館管理

事業内容：温泉機器（給水ポンプ、ろ過器）およびサウナ室の修繕、レストラン天井の漏水箇所修理等

事業費：5,128千円

事業主体：豊岡市

3 29年度予算

12,354 千円

No.23	地域の特色を生かしまちを活性化 ～日高振興局プロジェクトの推進～	29年度 予算額	13,584 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡大</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">継続</div>
-------	--	-------------	-----------	--

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、空き民宿等の活用、神鍋溶岩流を活用した地域振興、地域の食材を使用した競技者への食事提供による合宿の誘致、先輩に学ぶ授業等の振興局プロジェクト、観光事業等により雇用の創出、移住・定住の促進を図る。

2 事業内容

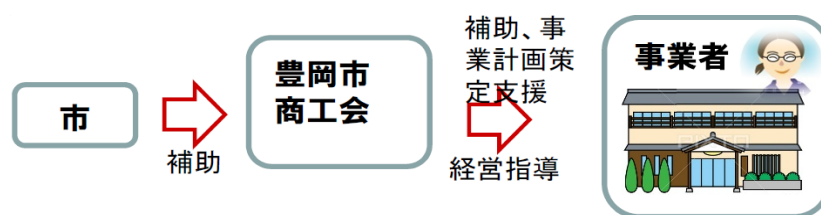
(1) 日高振興局プロジェクト事業

ア 空き民宿等活用整備事業（3,000千円）

神鍋地域の空き民宿等を宿泊施設や飲食店等に活用する事業者に対して、店舗改修費の一部を助成する。（継続）

助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）

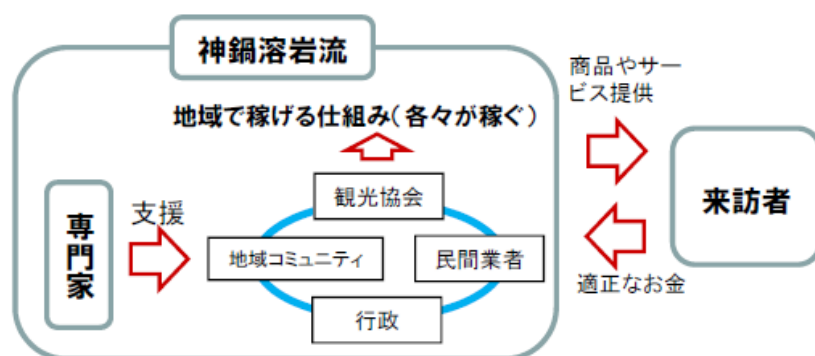
事業主体：豊岡市・豊岡市商工会



イ 神鍋溶岩流活用地域振興事業（120千円）

神鍋溶岩流を使った商品開発・サービス提供等について、専門家を交え検討する。（新規）

事業主体：豊岡市



ウ 神鍋アスリート食「ハートフル食」推進事業（1,000千円）

競技者のためのアスリート食「ハートフル食」の認定件数を増やす講習会等への支援、合宿誘致等のPR活動について支援する。（継続）

助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：神鍋ハートフル食プロジェクト実行委員会（事務局：日高神鍋観光協会）



神鍋マラソン「ハートフル食（疲労回復バーガー、ミルクプリン）」



神戸の飲食店でハートフル食をPR

エ 日高地域の先輩に学ぶ授業（80千円）

日高地域などで仕事などに活躍している若手が講師となって、中学生（日高東・西中学校）に対して生き方や考え方を伝える授業を実施する。（継続）
事業主体：豊岡市



- (2) 観光事業費 1,000 千円
日高夏まつり事業
助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）
事業主体：日高夏まつり実行委員会
- (3) 神鍋温泉ゆとろぎ管理費 310 千円
男子サウナ木製ベンチ土台修繕
- (4) 湯の原温泉オートキャンプ場管理費 4,700 千円
コテージ修繕、管理棟及びサニタリー棟トイレ修繕
- (5) 神鍋高原キャンプ場管理費 324 千円
広葉樹植栽
- (6) 日高観光施設管理費 550 千円
「八反の滝」駐車場整備
- (7) Weぷらざ管理費 2,500 千円
東西連絡通路雨漏り修繕、駅前街路灯LED電球取替等

3 29年度予算
13,584 千円

No.24	地域の特色を生かしまちを活性化 ～出石振興局プロジェクトの推進～	29年度 予算額	7,522 千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石地域では、出石の伝統産業である出石焼を国内および訪日外国人に広く宣伝し、出石焼の販売促進と職人の雇用促進を図り、出石焼の継承につなげる。

また、近年急増している空き家の所有者、賃貸や売却意向の有無等を調査し、住居や店舗等への利活用を促すことにより、国に選定された豊岡市出石の重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の町並みを守り、地域の活性化を図る。

加えて、観光・健康増進の拠点施設である出石温泉館乙女の湯の改修を行い、地域の振興や市民の利便性を向上させ、安全で良好な利用環境を図る。

2 事業内容

(1) 出石振興局プロジェクト事業

ア 出石焼宣伝活動事業

事業内容：東京・青山スクエアで年間を通して常設展示を行う。また同施設の「匠コーナー」において実演販売を行う。

事業費：700千円（補助率2/3）

事業主体：出石焼陶友会

イ 移住定住者向け住宅店舗促進事業（振興局プロジェクト）

事業内容：出石市街地の空き家の所有者・関係者および賃貸や売却金額の意向調査、空き家家屋の図面作成等を行い、豊岡市ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」への掲載や、利活用者へ円滑に情報を提供する。

事業費：1,550千円（補助率10/10）

事業主体：NPO法人いずし町家再生プロジェクトA

(2) 出石温泉館乙女の湯改修事業

事業内容：温泉設備漏水、靴箱修繕等

事業費：5,272千円

事業主体：豊岡市



3 29年度予算

7,522 千円

No.25	芸術文化でイメージアップ ～永楽館歌舞伎～	29年度 予算額	79,776 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡大</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">継続</div>
-------	---------------------------------	-------------	-----------	--

1 事業目的（趣旨）

平成 20 年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を発揮できる活用策として、歌舞伎公演を継続して開催している。本年度も文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として「第 10 回永楽館歌舞伎」を開催する。

2 事業内容

(1) 公演期間

平成 29 年 11 月 4 日（土）～12 日（日） 9 日間

(2) 公演回数

16 回公演（平成 28 年度は 15 回公演）

(3) 会 場

豊岡市立出石永楽館

(4) 内 容

片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演

今年は 10 回目の節目となることから、出演俳優・演目等が記念公演にふさわしい特別なものとなるよう調整する。

(5) 料 金

11,000 円（全席指定席）

(6) 新規取組

子どもたちに歌舞伎の魅力を知ってもらうため、市内在住の小・中・高校の児童・生徒に 3,000 円で観劇してもらう。割引の方法は次のとおりとする。

① チケット購入時…一般料金 11,000 円を支払って購入してもらう。

② 観 劇 当 日…受付でチケットと対象者であることを証明するもの

（保険証または学生証）を提示してもらい、割引分 8,000 円を返金する。

(7) 事業主体

豊岡市、永楽館歌舞伎実行委員会

3 29 年度予算

79,776 千円

《内訳》

① 公演委託料 55,080 千円

② 宣 伝 費 4,384 千円

③ 運 営 費 20,312 千円



第 9 回公演
写真提供：松竹栴



満員の客席

担当課名【出石振興局 地域振興課】0796-21-9025

No.26	地域の特色を生かしまちを活性化 ～但東振興局プロジェクトの推進～	29年度 予算額	7,562 千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

但東地域では、豊岡市の中でも特に厳しい人口減少が続いており、今後さらに人口減少が加速すると予測されている。

但東振興局プロジェクト事業として但東婚活応援隊による未婚者の情報収集を行い、婚活活動を促すとともに、婚活イベントを委託事業として実施し、未婚者の成婚を推進する。さらに、但東地域に若い人の移住を促進するため、若い家族に住居を賃貸し、住む場所を提供するとともに、交流人口拡大のため、教育民泊の推進を図る。

また、たんたん温泉活性化プロジェクトを引き続き推進する。

2 事業内容

(1) 但東振興局プロジェクト

ア 但東婚活応援プロジェクト事業

事業内容：但東地域未婚者情報収集および未婚者の婚活イベント参加促進
但東地域婚活応援講演会の開催

事業費：429 千円

事業主体：豊岡市



イ 但東地域婚活イベント事業

事業内容：但東地域の未婚の若者に出会いの機会を提供するイベント開催

事業費：953 千円

事業主体：豊岡市

委託先：しゃっでも但東（但東地域若者のネットワークグループ）

ウ 移住促進住宅運営事業

事業内容：移住促進住宅の維持管理

事業費：382 千円

事業主体：豊岡市

エ 教育民泊推進事業

事業内容：交流人口の拡大や定住人口の増加、農家の副収入の向上を図るため、教育民泊の取組みへ支援を行い、体験教育旅行を推進する。

事業費：4,298 千円

事業主体：豊岡市、豊岡市いのちの教育推進協議会

(2) たんたん温泉活性化プロジェクト事業

事業内容：経営改善への支援

事業費：1,500 千円

事業主体：たんたん温泉管理運営組合



3 29 年度予算

7,562 千円